

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37230	医学一般	木村典子			2	選択	1後期
科目の概要							
日々の生活と人体の構造と機能を関連付けて学び、次に、疾患とその治療について学んでいきます。自分の健康を保持していくためには、いろいろな疾患を理解したうえで生活習慣を見直していく必要があります。そのために必要となる医学の基礎的知識を解説していきます。(DP②③)将来、医療事務で働いていくために、必要となる知識の修得を目指していきます。また、健康管理士として、地域・職場・家庭において、健康啓発活動していける知識の修得を目指します。(DP①②③④)							
学修内容				到達目標			
① 生活様式(食事、排泄、睡眠、活動)と人体の構造と機能を学ぶ。 ② 種々の病気(がん、糖尿病、脂質異常、睡眠障害、便秘、排尿障害、糖尿病、動脈硬化、高脂血症、高血圧症、アレルギー)について理解して、生活習慣病にならない為の方法を学ぶ。 ③ 子どもに多い感染症、女性の病気(子宮がん、月経困難症、異常妊娠、乳がん)を学び、予防のための行動につなげる。 ④ 検査、薬の作用・排泄、種類について学習する。 ⑤ ①～④の知識をもとに健康管理能力検定3級に挑戦する				① 人体の構造と機能を生活様式との関連で、疾患の特徴(睡眠障害、便秘、排尿障害、糖尿病、動脈硬化、高脂血症、高血圧症、アレルギー、脳血管障害)を述べられる。(DP②③④) ② 種々の病気(がん、睡眠障害、便秘、排尿障害、糖尿病、動脈硬、高血圧症、アレルギー、心疾患、脳血管障害)について理解して、生活習慣病にならない為には必要なことが説明できる。(DP②③) ③ 子どもに多い感染症、女性の病気(子宮がん、月経困難症、異常妊娠、乳がん)を理解し、予防のための行動ができる。(DP②③④) ④ 検査の種類、薬の作用・種類について述べることができ、自らが使用する薬の作用、副作用が説明できる。(DP②③④) ⑤ 健康管理能力検定3級に合格するために学修行動をとることができる。(DP①②③④)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報(国立感染研究所、厚生労働省が出している)を連動させて、課題を考えることができる。					
	計画力						
	創造力	課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：健康管理能力検定3級生活リズムアドバイザー 参考文献：新医療秘書シリーズ②基礎医学 建帛社							
他科目との関連、資格との関連							
こころとからだのしくみ、生活習慣病の理解 上級秘書士(メディカル)、健康管理士							
学修上の助言				受講生とのルール			
日常生活の中で病気について関心をもつ。 講義の内容はその日のうちにノートにまとめ記憶する。 健康管理能力検定3級に全員に挑戦してもらいます。				主体的に学習計画を立てて行っていく必要があります。覚える知識も膨大な量があるので、日々の積み重ねが大切になります。小テストも毎回行うので、知識を整理するようにしましょう。課題は期日をまもって提出してください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			①健康管理能力検定3級の検定結果を評価の対象とする。 ②毎回の小テストの点数を平均して判定する。 ・授業内容を理解できているか確認する。 ・埋め問題と簡単な分析(グラフなど)を中心に出题する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。 疾患を適切に理解しているかを評価する。 ポイント：生活様式(食事、排泄、睡眠、活動)と人体の機能疾患の特徴(がん、糖尿病、脂質異常、睡眠障害、便秘、排尿障害、 糖尿病、動脈硬化、アレルギー、心疾患、脳血管障害)
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	40	①	✓			・食べたものが排泄されるまでの過程について、子供向きのパンフレットの作成と、作ったパンフレットの根拠としたデータと考察 ・乳がん予防の啓発のポスターと作ったパンフレットの根拠としたデータと考察 ・興味をもった感染症をとりあげ、国立感染症研究所のデータをもとに考察 ・pisa型学力 学生への健康に関するアンケート調査のデータをデータ化し、問題を抽出し、啓発につながるポスターを作成する。問題を読み取る能力、それを改善するための方法について評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			授業の冒頭で、理解度を確認するために発表を行う。 ・2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) ・必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。 (実行力) ・目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 (課題発見力) ・主観的情報、客観的情報(根拠あるデータ)を連動させて、課題を考えることができる。 (創造力) 課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用した、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる (傾聴力) ・グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
秀 1.生活様式(食事、排泄、睡眠、活動)と人体の機能をわかりやすく資料を作成し、説明することができる。 2.疾患の特徴(がん、糖尿病、脂質異常、睡眠障害、便秘、排尿障害、糖尿病、動脈硬化、高脂血症、高血圧症、アレルギー、心疾患、脳血管障害)を人体の構造と機能、疾患の特徴を関連付けて説明することができる。 3.根拠あるデータ(国立感染症、厚生労働書、医中誌など)を考察し、疾患予防活動につながるポスター、パンフレットが作成でき、説明できる。 4教科書・授業中で配布した資料のみならず、他の文献を使って、系統立ててノートを作成できる。 5テストで、90%以上の正解率である。 優 1.生活様式(食事、排泄、睡眠、活動)と人体の機能をわかりやすく資料を作成し、説明することができる。 2.疾患の特徴(がん、糖尿病、脂質異常、睡眠障害、便秘、排尿障害、糖尿病、動脈硬化、高脂血症、高血圧症、アレルギー、心疾患、脳血管障害)を人体の構造と機能、疾患の特徴を関連付けて説明することができる。 3.根拠あるデータ(国立感染症、厚生労働書、医中誌など)を考察し、疾患予防活動につながるポスター、パンフレットが作成でき、説明できる。 4教科書・授業中で配布した資料を使って、系統立ててノートを作成できる。 5テストで、80%以上の正解率である。	良 1.生活様式(食事、排泄、睡眠、活動)と人体の機能を資料を作成し、説明することができる。 2.疾患の特徴(がん、糖尿病、睡眠障害、便秘、アレルギー)を人体の構造と機能、疾患の特徴を関連付けて説明することができる。 3. 疾患予防活動につながるポスター、パンフレットが作成でき、説明できるが、データとの関連が不足している。 4. 系統立てたノート作成ができている。 5. テストで、70%以上の正解率である。 可 上記の1. 2. 3. 4が助言をもとに解くことができた 5. テストで、60%以上である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	人体の構造(細胞・組織・臓器)と生活との関連について学ぶ	小テスト(人体の構造と機能)と解説 講義 演習	人体の成り立ちがわかり、臓器の場所、名称が述べられる。	(復習)人体の構造と機能と生活(食事、排泄、睡眠) (予習)免疫機能を調べる。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	免疫機能について学ぶ。 ・予防接種と感染症 ・私が今までの予防接種 母子手帳から考える	小テストと解説 発表 講義と演習 提出したレポートはコメント、ABCの三段階評価で返却	免疫機能について述べるができる。	(復習)予防接種と免疫をまとめ、自分が今まで接種した予防接種 (予習)インフルエンザの症状、検査、治療を調べる。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
3	こどもに多い感染症を学ぶ。 風疹・はしか・おたふくかぜ リンゴ病・百日咳・プール熱	小テストと解説 SNSを使った双方向型授業(免疫の復習) 発表 講義と演習 提出したレポートはコメント、ABCの三段階評価で返却	こどもに多い感染症の特徴を述べるができる。	(復習)こどもに多い感染症と自分が今までにかかった感染症 (予習)興味のある感染症を選び、国立感染症研究所のデータをもとに考察する。 予防、蔓延を防ぐ対策をレポートする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
4	アレルギー疾患について学ぶ。(蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシーショック)	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習 吸入器、エピペンの使い方	アレルギー疾患の特徴について述べるができる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。 (予習)生活習慣と便秘の関係を調べる	180	主体性 実行力 発信力 規律性
5	食事と消化器の関係について学ぶ。 逆流性食道炎、胃がん、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、便秘症について学ぶ。	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習 提出したレポートはコメント、ABCの三段階評価で返却	食事に関係する食道・胃・小腸・大腸の役割を述べるができる。 消化器疾患の特徴について述べるができる	(復習)消化器の解剖生理をまとめる。 (予習)こどもにわかりやすい食べ物の通道のパンフレット作成	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
6	肝臓・膵臓・胆のうの機能と、その臓器に多い疾患を学ぶ。 肝炎、膵炎、膵臓癌、胆石	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習 提出したレポートはコメント、ABCの三段階評価で返却	肝臓・膵臓・胆のうの機能と結びつけて疾患を列挙できる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。 (予習)肝臓が悪い人による食事	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
7	女性に多い疾患について学ぶ。がんの疫学、AYA世代のがんの疫学を考察する。 乳がん	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習 提出したレポートはコメント、ABCの三段階評価で返却	乳がんの進行、早期発見のためのセルフチェックが述べることができる。	(復習)乳がんと乳腺症 ノートにまとめる。 (予習)乳がん、早期発見のための啓発ポスター、パンフレットを作成する。作成した経緯についてもレポートする。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	女性に多い疾患について学ぶ。 子宮がん、月経困難症 異常妊娠(子宮外妊娠、胎状奇胎)	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習	妊娠が疑われるとき、子宮がん、月経困難症に対する対処法が述べられる。	(復習)子宮がん、異常妊娠 ノートにまとめる。 (予習)自分・家族がよくつかう薬の作用と副作用を調べる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	痛みのメカニズム 薬の形状、摂取方法 (経口、経管) 薬の効果と副作用、中 毒について学ぶ	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習	薬の作用、副作用につ いて述べるができる。	(復習) 薬の種類につ いてまとめる。 (予習) ダイエットでよくいわ れる低GI、グルテンフ リー、糖質フリーにつ いて調べる	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
10	血液検査・尿検査デー タよりわかることにつ いて学ぶ。食事と血糖 の変化を学び、生活習 慣病の一つである糖尿 病について学ぶ。	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習	検査の種類について列 挙することができる。 血糖の変化と、糖尿病 の関係を述べる可以 る。	(復習) 糖尿病の特徴、治療に ついてまとめる。 (予習) 事例の患者の 適切な食事の仕方をま とめる。	180	主体性 創造力 発信力 規律性
11	循環器の構造と機能、 心筋梗塞、不整脈、高 血圧について学ぶ 自動血圧計で血圧を測 る 脈拍測定	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習 提出したレポートはコ メント、ABCの三段階 評価で返却	心臓の働きと結びつけ て、疾患の特徴を説明 できる。 自身の血圧、脈拍を知 り、考察できる。	(復習) 心疾患につい て、ノートにまとめ る。 (予習) 夜中はどのようにして、日中 と比べ、トイレの回数 が減るのか	180	主体性 創造力 発信力 規律性
12	大脳と人間らしさにつ いて学ぶ。脳と全身の 関係 植物状態(遷延性意識 障害)と脳死 アロマセラピーと脳・ 自律神経	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習 提出したレポートはコ メント、ABCの三段階 評価で返却	脳と全身の関係につい て述べることができる。	(復習) 脳幹毛様体への刺激の 効果 背面開放座位の効果 (予習) 麻布脳神経外科の取り 組みについてレポート する。	180	主体性 実行力 発信力 規律性
13	学生の生活アンケート をもとに、病気になる ための生活習慣を 改善を提案する。	小テストと解説 プレゼンテーション 講義と演習	データをもとに、生活 習慣を改善を提案する パンフレット、ポス ターが作成できる。	(復習) 試験に向け て、ノートをまとめ、 プリント学修をする。	180	主体性 課題発 見力 発信力 規律性
14	学生の生活アンケート をもとに、病気になる ための生活習慣を 改善を提案する。	SNSによる他者、相互 評価をおこなう	データをもとに、生活 習慣を改善を提案する パンフレット、ポス ターが作成できる。	(復習) 学生達の発表を 聞いて、生活習慣の改 善について考える。	180	主体性 課題発 見力 発信力 規律性
15	オンデマンド	配布されたVTR、資料 をもとに課題を実施す る。		(	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力